

みんなの森のブロンズ像 ～知っていますか？～

みんなの森に右手に小鳥を乗せた少女のブロンズ像が佇んでいます。いつの頃からか、子どもたちの中では「みどりちゃん」という愛称が付けられているようです。

このブロンズ像は、平成9年5月16日に建立されました。今年でちょうど20年経ちます。(成人式です！)

加太中在家出身の(故)田木 信一さんが、本校図書館へたくさんの本とみんなの森にブロンズ像を寄贈されたそうです。ブロンズ像には、「自然一愛」と彫られています。「一愛(読み:かずあ、ちなり、ひめ、ちあ、

い、いちあ、いちか、いちえ、いのり)」という言葉には、好きでたまらなく思う。楽しむ。かわいがる気持ち。いとしさ。人々を救ってくれる恵みの心等の意味があります。

この加太の自然をこよなく愛し、多くの人が幸せになってほしいという田木さんの願いが込められているのではないのでしょうか。



作者 稲垣 克次さん(鈴鹿市)の刻印

※日展に多数出品 鈴鹿市文化功労表章 日展審査員、日展評議員を歴任